## ③加工施設

## i ) 放射性固体廃棄物

施 設 名		低レベル放射性固体廃棄物 (本)		合計	貯蔵設備 容量
//E BX 71		ドラム缶 (200%)	その他の種類 (本相当) *1	(本相当) *1	(本相当)
(4H) H = 33	前年度末の保管量	16, 245	2, 596	18, 841	
(株) グローバル・ ニュークリア・フュエル・	当該年度の発生量	153	37	190	
ジャパン	当該年度の減少量	165	40	205	24, 800
	年度末の保管量	16, 233	2, 593	18,826	
三菱原子燃料(株)	前年度末の保管量	9, 795	748	10, 543	
	当該年度の発生量	773	110	883	
	当該年度の減少量	861	252	1, 113	11,600
	年度末の保管量	9, 707	606	10, 313	
原子燃料工業(株) 東海事業所	前年度末の保管量	5, 627	803	6, 430	
	当該年度の発生量	219	34	253	
	当該年度の減少量	271	5	276	8,500
	年度末の保管量	5, 575	833	6, 408	
	前年度末の保管量	7, 188	51	7, 239	
原子燃料工業 (株)	当該年度の発生量	724	22	746	
熊取事業所	当該年度の減少量	32	0	32	11, 520
	年度末の保管量	7,880	73	7, 953	
	前年度末の保管量	510	56	566	
(独)日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	1	0	1	
ウラン濃縮原型プラント	当該年度の減少量	0	0	0	800
	年度末の保管量	511	56	567	
*19, *20	前年度末の保管量	(304) 4,887	1, 200	6, 125	_
日本原燃(株)	当該年度の発生量	(16) 144	200	346	
濃縮・埋設事業所	当該年度の減少量	(0) 0	0	0	16, 900
(加工施設)	年度末の保管量	(320) 5, 031	1, 400	6, 471	

## その他放射性廃棄物 ii )

施 設 名		低レベル放射性 液体廃棄物 (m³)	貯蔵設備 容量 (m³)	放射性 気体廃棄物 (80kgボンベ 換算(本))	貯蔵設備 容量 (本)
(株) グローバル・ ニュークリア・フュエル・	当該年度の発生量 当該年度の減少量	0. 24	0. 0		
ジャパン	年度末の保管量	0. 26 0. 10	0.6		
三菱原子燃料 (株)	当該年度の発生量	0.00			
	当該年度の減少量	0.00	3		
	年度末の保管量	1.80			
原子燃料工業 (株)	当該年度の発生量	0. 20			
東海事業所	当該年度の減少量	0.50	9.60		
	年度末の保管量	6.65			
原子燃料工業 (株)	当該年度の発生量	0.4			
熊取事業所	当該年度の減少量	0.0	20.0		
	年度末の保管量	12. 4			
(独)日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	_			
ウラン濃縮原型プラント	当該年度の減少量		_		
	年度末の保管量	_			
日本原燃(株)	当該年度の発生量	0. 20		0	
濃縮・埋設事業所	当該年度の減少量	0.00	6. 10	0	27
(加工施設)	年度末の保管量	1. 87		0	

<sup>\*19: ( )</sup> は20% ドラム缶。合計は、20% ドラム缶8本あたりを200% ドラム缶1本分とし、 端数については切り上げて計上した。 \*20:この他に2010年度に低レベル固体廃棄物として発生した75tSWU/y相当分の使用済金属胴遠心機を保管して いる。